

2024年度(第2回)

学校関係者評価委員会評価報告書  
(2024年度自己点検・自己評価)

令和7年3月31日

学校法人 朝日医療学園  
朝日医療専門学校広島校

# 2024年度 朝日医療専門学校広島校

## 第2回 学校関係者評価委員会

(委員)

| 氏名    | 所属                                     | 任期                       | 種別        |
|-------|--|--------------------------|-----------|
| 土方 政幸 | 公益社団法人広島県柔道整復師会 理事<br>(うじな東巴堂鍼灸整骨院 院長) | 2024年4月1日<br>～2025年3月31日 | 企業・業界団体   |
| 河部 眞利 | 外国人技能実習機構 広島事務所                        | 2024年4月1日<br>～2025年3月31日 | 高等学校校長経験者 |
| 渡邊 由恵 | 広島テレビ放送株式会社 総務局                        | 2024年4月1日<br>～2025年3月31日 | 学生の保護者    |
| 中村 崇弘 | 己斐なかむら鍼灸接骨院 院長                         | 2024年4月1日<br>～2025年3月31日 | 本校卒業生     |

評価項目別結果 1:不適切 2:やや不適切 3:ほぼ適切 4:適切

| (1)教育理念・目標(教育理念、目標、育人人材像)   | 自己評価点   | 学校関係者評価点                        |         |  |   |                                 |   |   |
|---|---|---------------------------------|---------|--|---|---------------------------------|---|---|
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">現状・課題</th> <th style="width: 33%;">今後の改善方策</th> <th style="width: 34%;">学校関係者評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育理念や教育目標等については、本年度においても教務部が主体となり、新年度に実施する学年別ガイダンスにて教育訓練の一環として周知するようブラッシュアップに努めた。また、入学式等の行事での挨拶、学生便覧へ記載、校内掲示(1Fロビー、教職員室)及びホームページ上へ掲示することを徹底し、学生および保護者に向けて周知継続を図っている。</td> <td>今後は例年実施するガイダンスで感じた課題点をより良いものにするべく、教職員全体の意識を高めたうえで改善点を模索していきたい。ただ一度の意識づけでより良いものにできることではないことを念頭に、組織全体で周知継続を実践していく。</td> <td>全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。</td> </tr> </tbody> </table> | 現状・課題   | 今後の改善方策                         | 学校関係者評価 | 教育理念や教育目標等については、本年度においても教務部が主体となり、新年度に実施する学年別ガイダンスにて教育訓練の一環として周知するようブラッシュアップに努めた。また、入学式等の行事での挨拶、学生便覧へ記載、校内掲示(1Fロビー、教職員室)及びホームページ上へ掲示することを徹底し、学生および保護者に向けて周知継続を図っている。                       | 今後は例年実施するガイダンスで感じた課題点をより良いものにするべく、教職員全体の意識を高めたうえで改善点を模索していきたい。ただ一度の意識づけでより良いものにできることではないことを念頭に、組織全体で周知継続を実践していく。                                  | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 | 3 | 4 |
| 現状・課題   | 今後の改善方策   | 学校関係者評価                         |         |  |   |                                 |   |   |
| 教育理念や教育目標等については、本年度においても教務部が主体となり、新年度に実施する学年別ガイダンスにて教育訓練の一環として周知するようブラッシュアップに努めた。また、入学式等の行事での挨拶、学生便覧へ記載、校内掲示(1Fロビー、教職員室)及びホームページ上へ掲示することを徹底し、学生および保護者に向けて周知継続を図っている。  | 今後は例年実施するガイダンスで感じた課題点をより良いものにするべく、教職員全体の意識を高めたうえで改善点を模索していきたい。ただ一度の意識づけでより良いものにできることではないことを念頭に、組織全体で周知継続を実践していく。                                  | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 |         |  |   |                                 |   |   |
| <b>特記事項</b><br>教育理念や教育目標については、今後も教務部が主体となり、学年別ガイダンスにて教育訓練の一環として周知するよう都度ブラッシュアップに努めることが必要。   |   |                                 |         |  |   |                                 |   |   |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">現状・課題</th> <th style="width: 33%;">今後の改善方策</th> <th style="width: 34%;">学校関係者評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画のもとに学校長の指示の下、組織的に運営している。また、各部署の管理者に対して、年度別の事業報告と事業計画の立案を求め、広島校として策定したものを評議員会で報告のうえ審議を図っている。</td> <td>評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画は、広島校の管理者会議にて報告するだけでは教職員全体へ伝わらない。そのために学科会議および常置委員会を通じて検討内容や承認事項の把握に努める。そして、教職員全体会議で周知事項を共有し、期中には事業報告や事業計画の進捗状況の経過報告を求める。</td> <td>全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。</td> </tr> </tbody> </table>                | 現状・課題   | 今後の改善方策                         | 学校関係者評価 | 評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画のもとに学校長の指示の下、組織的に運営している。また、各部署の管理者に対して、年度別の事業報告と事業計画の立案を求め、広島校として策定したものを評議員会で報告のうえ審議を図っている。   | 評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画は、広島校の管理者会議にて報告するだけでは教職員全体へ伝わらない。そのために学科会議および常置委員会を通じて検討内容や承認事項の把握に努める。そして、教職員全体会議で周知事項を共有し、期中には事業報告や事業計画の進捗状況の経過報告を求める。 | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 | 3 | 4 |
| 現状・課題   | 今後の改善方策   | 学校関係者評価                         |         |  |   |                                 |   |   |
| 評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画のもとに学校長の指示の下、組織的に運営している。また、各部署の管理者に対して、年度別の事業報告と事業計画の立案を求め、広島校として策定したものを評議員会で報告のうえ審議を図っている。  | 評議員会および理事会で承認された経営方針や事業計画は、広島校の管理者会議にて報告するだけでは教職員全体へ伝わらない。そのために学科会議および常置委員会を通じて検討内容や承認事項の把握に努める。そして、教職員全体会議で周知事項を共有し、期中には事業報告や事業計画の進捗状況の経過報告を求める。 | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 |         |  |   |                                 |   |   |
| <b>特記事項</b><br>教職員関連委員会を通じ、教職員のSD(Staff Development)を推進していく。  |   |                                 |         |  |   |                                 |   |   |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">現状・課題</th> <th style="width: 33%;">今後の改善方策</th> <th style="width: 34%;">学校関係者評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間を通して補習・チューター制度を整え、継続的に指導を実施している。また、月1回、第3学年を対象に模擬試験を両学科とも実施した。第2学年に対しても国家試験への見直しを持たせるために、1回ではあるが模擬試験を実施し、学生・教員ともに現状を把握するように努めた。第1学年・第2学年の補習体制にばらつきはあるものの、継続的に実施することができ、学生の参加率も高いものが見られる。</td> <td>次年度に向けて、全校的な指導体制を改めて見直し、補習指導体制の強化、空き教室の有効活用等について検討していく。</td> <td>全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。</td> </tr> </tbody> </table>                                    | 現状・課題   | 今後の改善方策                         | 学校関係者評価 | 年間を通して補習・チューター制度を整え、継続的に指導を実施している。また、月1回、第3学年を対象に模擬試験を両学科とも実施した。第2学年に対しても国家試験への見直しを持たせるために、1回ではあるが模擬試験を実施し、学生・教員ともに現状を把握するように努めた。第1学年・第2学年の補習体制にばらつきはあるものの、継続的に実施することができ、学生の参加率も高いものが見られる。 | 次年度に向けて、全校的な指導体制を改めて見直し、補習指導体制の強化、空き教室の有効活用等について検討していく。   | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 | 3 | 4 |
| 現状・課題   | 今後の改善方策   | 学校関係者評価                         |         |  |   |                                 |   |   |
| 年間を通して補習・チューター制度を整え、継続的に指導を実施している。また、月1回、第3学年を対象に模擬試験を両学科とも実施した。第2学年に対しても国家試験への見直しを持たせるために、1回ではあるが模擬試験を実施し、学生・教員ともに現状を把握するように努めた。第1学年・第2学年の補習体制にばらつきはあるものの、継続的に実施することができ、学生の参加率も高いものが見られる。  | 次年度に向けて、全校的な指導体制を改めて見直し、補習指導体制の強化、空き教室の有効活用等について検討していく。   | 全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。 |         |  |   |                                 |   |   |
| <b>特記事項</b><br>次年度においても、補習指導を望まない学生が成績不良者となることを理解させる。授業は理解に苦しむが、補習であれば理解できると感じる学生もいる。   |   |                                 |         |  |   |                                 |   |   |

|  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| <b>(4)学修成果(資格取得率、就職率、退学率、学生の社会的活動)</b>   |   |   |   |   |
| <b>現状・課題</b>   | <b>今後の改善方策</b>  | <b>学校関係者評価</b>  |   |   |
| 就職希望者に対する就職率は100%を維持している。<br>昨年度は最終的に退学率が5%を超えたが、今年度は3%未満である。<br>国家試験合格率は両学科ともに全国平均を上回る水準で推移しているが、基礎学力が低い学生も多いことから、今後の見通しは決して明るくない部分もある。本校の使命である実質合格率の向上を今後も目指していく必要がある。   | 実質合格率の向上や退学率5%未満を維持するために、今後も丁寧な学生指導を行っていく。<br>特に成績不良による退学者数を抑制するためにも、現在の補習体制をより高度に組織化することを着実に進めていく。   | 昨年度の反省を活かし退学率を3%以内に留めた結果は評価に値する。しかしながら、資格取得率についての結果は非常に悩ましい点である。さまざまな対応策を打ち出し学習効果を高める努力は認めるが、早急な改善方策を検討していただきたい。補習体制を如何に組織化すると学習成果に結びつくのか今一度検討していただきたい。   | 3 | 3 |
| <b>特記事項</b>  |   |   |   |   |
| 資格取得率について早急な改善方策等の検討が必要である。補習体制の組織化が学習成果に結びつくのか要検討する。  |   |   |   |   |
| <b>(5)学生支援(就職・進学支援、健康管理、学生生活・相談、保護者との連携、卒業生支援)</b>   |   |   |   |   |
| <b>現状・課題</b>   | <b>今後の改善方策</b>  | <b>学校関係者評価</b>  |   |   |
| 学生生活上で起こる相談について、クラス担任を中心に面談できる体制をとっている。健康面で不安を抱える学生もいることから、学力偏重にならないように意識した指導も行っている。<br>また、悩みを抱える学生に対してクラス担任のみに負担がかかることがないよう、各学科全体で情報共有を行い、複数名で対応している。<br>就職・進学支援については、担任・キャリア担当者が中心となり、第3学年の学生全員の進路希望の聞き取りと面談を行い、就職先の斡旋を行っている。  | 学生指導・学習支援について、即効性を追い求め過ぎることなく、あくまでも学生生活3年間を通した成長を意識した指導・支援を行っていく。また、今後は相談体制について全校的な取り組みとしての組織づくりも検討していく。  | 就職について業界の中では売り手市場なのかとも考えるが、早期(前期)の就職活動について検討する余地があるのではないかと。<br>また、一般企業とは就職活動のタイミングが異なるため、学生のモチベーションにつながる支援も検討することを考えてほしい。卒業後の就職支援については手厚いサポートをしている印象を受ける。 | 3 | 3 |
| <b>特記事項</b>  |   |   |   |   |
| 就職・進学支援については、学生の希望に添える形での進路実現を恒久的に目指す。   |   |   |   |   |
| <b>(6)教育環境(施設・設備等、学外実習、防災・安全等)</b>   |   |   |   |   |
| <b>現状・課題</b>   | <b>今後の改善方策</b>  | <b>学校関係者評価</b>  |   |   |
| 西広島駅南口西地区周辺の再開発事業が都市決定し、竣工に向けた動きが見えてきた。本校においては、経年劣化による修繕及び安全・防災面の老朽化対策については、予算を慎重に計上し、適宜計画的に進めている。<br>ソフト面においては、Web上で出欠登録が可能な機能の改善点があることが分かり、次年度から修正運用ができるよう準備を進めている。  | ハード面における教育環境の改善及び修繕においては、再開発事業の進捗状況を見据え適宜対応していきたい。<br>ソフト面における教育環境の改善を前提として導入した出欠状況や成績が閲覧できるWeb機能を、学生・保護者がより分かりやすく把握できるよう改善し、より効果的な運用ができる方策を検討する。   | 現状では問題点や指摘する点はなし。<br>ハード面においては、引き続き年度予算に沿った適切な設備投資(改修)を実行していただきたい。ソフト面においては、教職員全体で知恵を出しながらより良い方策等を検討していただきたい。   | 3 | 3 |
| <b>特記事項</b>  |   |   |   |   |
| 学生に対する学校評価アンケートをもとに(8月実施予定)改善すべき点を精査・実行して魅力ある施設環境の構築を図る。   |   |   |   |   |
| <b>(7)学生の募集と受け入れ(学生募集活動、入学選考、学納金)</b>  |   |   |   |   |
| <b>現状・課題</b>   | <b>今後の改善方策</b>  | <b>学校関係者評価</b>  |   |   |
| 今年度も18歳人口の減少、広島県の転出超過数4年連続全国ワースト1位・都道府県別大学進学率上位・就職求人数の増加といった影響もあり、昨年度と同様に高校生の学生募集を巡る環境は極めて厳しい状況であった。しかし、昨年度の反省から広報活動を強化したことでオープンキャンパスへの高校生の動員は昨年度より増加となり、きめ細かな対応によって若干ではあるが高校生の出願数を増やすことができた。また、『特待生制度』も昨年度より広く認知され、エントリー数も増加した。ただ、昨年度の高校生の大幅減をカバーした社会人出願者が本年度は予想外の減少傾向となった。社会人オープンキャンパスや個別説明・相談会では昨年とほぼ同数と接触し同様の対応をしたが、仕事や家庭の都合といった様々な理由で予想よりもかなり少ない出願状況となった。次年度も学生募集の状況は引き続き厳しいことが予想されるが、教職員が一丸となって広報・募集活動を推し進めていく必要がある。 | 次年度も18歳人口の減少・県外への流出・県内外の大学&他の専門学校への攻勢・就職求人数の増加といった状況は今年度と変わらないことは想像できる。よって、今までと同様に校内・会場ガイダンスへの積極参加・スポーツチームや高校部活動への積極関与でより多くの高校生との接触・対話を図るとともに、鍼灸師・柔道整復師・朝日医療広島校の知名度・認知度の向上に注力し、入学希望&入学検討者の母集団形成に取り組む必要がある。また、当然ではあるがオープンキャンパスや個別相談等で来校する入学候補者である高校生とその保護者・社会人とその関係者及び家族等に対して今まで以上に丁寧かつ親切な対応を全員が心がける必要もある。<br>次年度の大きな変化としての取り組みとしては今までの入試制度を大幅に見直す予定である。入試区分を増加させることで対応する教職員側にとっては多少複雑にはなるが、より多くの高校生・社会人の入学希望者が以前よりは出願しやすいう入試制度を導入する予定である。 | 学生募集活動において、接骨院や鍼灸院にポスターなどの掲示を依頼することで柔道整復師や鍼灸師の資格の認知につながり、学生募集に相乗効果があるのではないかと。<br>また、業界に興味がない者、よく知らない者に向けた説明会やガイダンスなどに取り組むことも検討して欲しい。                      | 3 | 3 |
| <b>特記事項</b>  |   |   |   |   |
| 入試制度を大幅に改革することで、学生募集の狙いと課題が解消する事案となるのかを精査し、臆することなく実行する。  |   |   |   |   |

| (8) 財務(財務基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開)   |  |   | 2 | 3 |
|--|--|---|---|---|
| 現状・課題  | 今後の改善方策  | 学校関係者評価   |   |   |
| <p>公認会計士の監査を受け、評議員会および理事会で審議のうえ、現状は厳しいながらも適切な財務状況であると承認を受けている。</p> <p>本校の事業収支予算の計上については、各部署で詳細に科目予算を立案し、対前年比を意識した予算計画(案)を計上し、無駄な支出を抑えた予算執行を実施している。</p> <p>退学者の抑制はできたが、入学者数減少の情勢もあり、財務基盤の柱となる学納金収入は減収の見込みである。</p> | <p>各部署の科目予算ごとの執行状況を厳しく審査し適切且つ正確な財務状況を把握したうえで、最終的に全体予算を抑えることに注力する。次年度においては、物価上昇による支出額が増えることは確実であり、在学者数減少による減収も決定的である。コスト削減を強く意識し、物価上昇や少子高齢化の社会情勢を如何に乗り越え、財務基盤の柱となる学納金収入の増加に向けた施策として全校体制で入学者数の確保と退学者数の抑制を徹底していく。</p>       | <p>物価上昇による支出額が増えることは確実であるが、退学者の抑制(3%)により次年度の在学者数もなんとか留め置くことができている点は評価する。入試制度改革による次年度以降の入学者数の増加に期待する。</p> <p>引き続き、全体的な財務状況を意識し適切な事業遂行に努めていただきたい。</p> |   |   |
| <p><b>特記事項</b></p> <p>各部署で科目予算の執行状況をきちんと把握し、全体的な財務状況を常に意識したうえで事業遂行を実践していく。</p>   |  |   |   |   |
| 現状・課題  | 今後の改善方策  | 学校関係者評価   | 3 | 4 |
| <p>学校教育法施行規則の専修学校設置基準に則り、適正な運営を実施している。また、各学科における課題解決に当たっては、各々の養成施設指定規則との整合性を図り、コンプライアンスを徹底している。</p>  | <p>引き続き教職員の適正人員の確保と配置に気を配りつつ、イレギュラーな対応に迫られることのないよう準備と対策を実施しておく必要がある(休職対応など)。</p>   | <p>全般的な意見として、現状では問題点や指摘する点は見当たらない。</p>  |   |   |
| <p><b>特記事項</b></p> <p>現状で問題点はないが、専任教員の拡充を意識した運営を実践していく。</p>  |  |   |   |   |
| (10) 社会貢献・地域貢献(社会・地域貢献、生涯学習、ボランティア活動)  |  |   | 3 | 4 |
| 現状・課題  | 今後の改善方策  | 学校関係者評価   |   |   |
| <p>地域住民を対象とした100歳体操を本校2階柔道場にて行政と連携し実施することで、学校の認知度は徐々に高まっている。</p> <p>学校所在地の地域団体や文化財団から毎月のようにお声がけを頂きながら、教職員・学生が丸となりボランティア活動やスポーツ活動に積極的に参加し、地域に必要な教育機関として人材による地域貢献活動を支援している。</p>                                    | <p>学校の認知度向上に比例し、学校へ届く苦情も多くなることが予測される。地域に開かれた魅力ある学校づくりを推進することは、地域の皆様から見られる眼も厳しくなることだと教職員や学生は自覚し対策を講じる必要がある。</p> <p>本校の資源(人材・教材・施設)を活かした社会貢献活動については、引き続き主体的に実施することを目標とし、当事者が有意義な活動だと捉えられるよう行政のアドバイスを頂戴しながらチャレンジしていきたい。</p> | <p>ボランティア活動を通じて地域や社会に対してかなり貢献されている。今後は事業計画などを発信されるとさらに魅力ある社会貢献・地域貢献の活動になるのではないかと最大評価したい。</p>  |   |   |
| <p><b>特記事項</b></p> <p>学校生活を全力で謳歌したい学生たちが主体的に取り組む地域貢献活動は、学生の満足度向上に寄与できるため、今後も教職員一丸でさまざまなボランティア活動を支援する。</p>  |  |   |   |   |

## 総合的評価結果

特に大きな問題はなく健全な学校運営が図られている。